



2021年11月分

TOKYO CUSTOMS HANEDA BRANCH  
東京税関羽田税関支署

## 羽田空港貨物取扱量

総取扱量が8カ月連続、積込量は9カ月連続、取卸量は8カ月連続で増加

## 概要

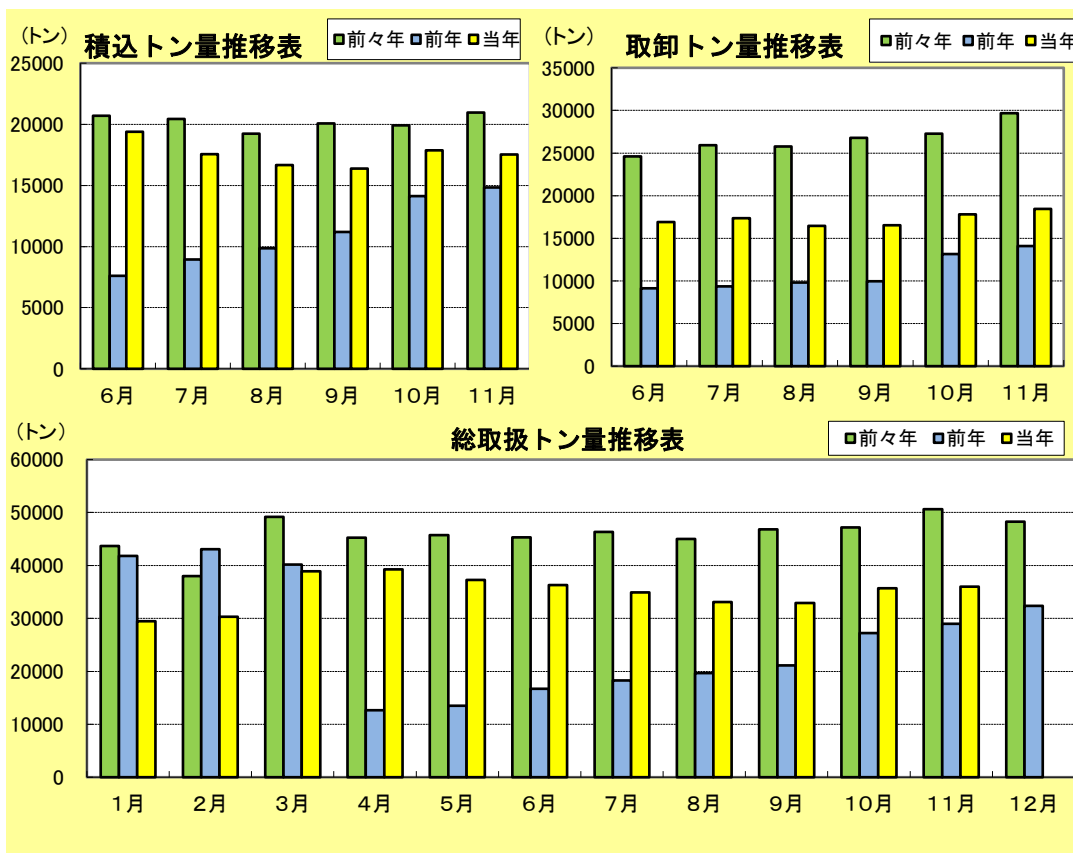
2021年11月の羽田空港における国際航空貨物取扱量は、

総取扱量 35,969トン(前年同月比 24.2%増)

積込量 17,529トン(同 18.1%増)

取卸量 18,440トン(同 30.7%増)

となり、前年同月比で見ると、総取扱量と取卸量が8カ月連続でプラス、積込量は9カ月連続でプラスとなった。



1. 本資料を他に転載するときは、東京税関（羽田税関支署）の資料による旨を注記してください。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関羽田税関支署業務管理課（TEL050-5533-6971）まで。



## 地域別通関動向

### ● 輸出量

羽田空港から輸出された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 1,151トン(前年同月比 49.3%増、シェア12.2%)

その他地域通関 8,261トン(同 36.2%増、同 87.8%)

となり、前年同月比で見ると、羽田地域通関、その他地域通関ともに、9カ月連続でプラスとなった。

### ● 輸入量

羽田空港で輸入された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 5,445トン(前年同月比 28.8%増、シェア 46.1%)

その他地域通関 6,368トン(同 57.6%増、同 53.9%)

となり、前年同月比で見ると、羽田地域通関、その他地域通関ともに、8カ月連続でプラスとなった。



## 仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量 8,117トン(前年同月比 1.4%増)

取卸量 6,627トン(同 13.5%増)

となり、前年同月比で見ると、積込量は9カ月連続でプラス、取卸量は8カ月連続でプラスとなった。



## 生鮮・ドライ取卸貨物動向

2021年11月の羽田空港で輸入された貨物(羽田地域通関分)を生鮮貨物及びドライ貨物別にみると、

生鮮貨物 1,085トン(前年同月比 53.0%増、シェア 19.9%)

ドライ貨物 4,360トン(同 23.9%増、同 80.1%)

となった。

生鮮貨物の内訳は、野菜等31.6%(同117%増)、水産物24.2%(同15%減)、果物12.1%(同112.9%増)、植物(切花等)11.2%(同139.9%増)等となった。

羽田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

	2021年11月			2020年11月		
	トン	前年同月比	構成比	トン	前年同月比	構成比
羽田空港輸入貨物量	5,445	128.8%	100.0%	4,229	41.3%	100.0%
生鮮	1,085	153.0%	19.9%	709	72.5%	16.8%
ドライ	4,360	123.9%	80.1%	3,520	38.0%	83.2%